



ハーバード教育大学院の研究グループが「革新的な教育プログラム」と評価する
“英語で学ぶ”イマージョン・プログラム

1 歳半からの早期学習プリスクールが7月より開講

～ 両親の苦手意識克服を目的に、絵本の読み聞かせ体験学習も開催 ～

世界 15 か国に 120 か所の幼児および児童向け英語スクールを展開する RISE GLOBAL HOLDINGS LIMITED(本社:アイルランド・ダブリン、Chairman/CEO:Barry O'Callaghan、以下 RISE Global)の国内第一号校となる RISE Japan 代官山(運営会社:RISE Japan 株式会社、本社:東京都渋谷区、代表:代表取締役社長 若鍋 孝司、以下 RISE Japan)では、ハーバード教育大学院の教育研究グループが、「21 世紀の子供たちの幼少期の英語教育における革新的なプログラム」と評価する早期学習プログラムを、2016 年 7 月より開始したことを発表しました。具体的には、1 歳半から 3 歳半を対象とした「プリスクール・プログラム」を 2016 年 7 月より、また 2017 年 4 月に開講する 4 歳から 6 歳を対象としたバイリンガル幼稚園「フルタイム・キンダーガーデン」の募集を 2016 年 9 月より正式にスタートします。



同時に、幼少期の語学教育には家庭の取り組みも大切なことから、親世代の英語に対する苦手意識を克服してもらう目的で、両親を対象に英語による効果的な絵本の読み聞かせ習得を目的とした体験学習イベントを、2016 年 9 月 7 日(水)と 9 月 17 日(土)に実施します。

ハーバード教育大学院 研究グループが高く評価する

科目ベースの英語イマージョン・プログラム

米国の大手教育出版ホートン・ミフリン・ハーコート(米国マサチューセッツ州、NASDAQ:HMHC、以下HMH社)の傘下にて、教育出版における知見や米国における第二母国語としての英語の公教育現場で支持されているカリキュラムをベースに開発されたRISE Globalの英語教育は、英語を使って他の科目を学ぶサブジェクト(科目)ベースの本格的な英語イマージョン・プログラム(※2)である点が特長です。

なかでも、(1)多数の受賞歴を誇るHMH社発行の教育教材(印刷物、デジタルを含む)の活用、(2)世界的にも先進的な教育機関で採用されていると同様の教育法・アプローチの導入、(3)アクティブ・ラーニング(能動的な学習法)の採用、(4)国語、算数、理科、社会等の科目を英語で学ぶ科目ベースの学習法、(5)インタラクティブ・ボードやテキスト、アクティ



ビティ・プログラムを効果的に組み合わせた学習スタイル、(6)自分自身に対する自信 (Confidence) や問題解決能力、クリエイティブ・シンキングなど、広範なコミュニケーションに必要とされる考え方や能力を養うプログラム、などが高く評価され、これまでに、中国や韓国など英語教育の高度化が進むアジア各国などで高い評価を得ています。

2016年6月には、RISE Global の委託によりハーバード教育大学院の教育研究グループが、独自の評価基準に基づく調査・評価レポート“The New Global Actors: The RISE Approach to Building English Language Learners’ 21st Century Skills”(著者: Nonie K. Lesaux 博士、Emily Phillips Galloway 教育博士ほか)を公表。レポートでは、幼少期の英語教育には4つの要素(口頭言語、読み書き能力、確かな英語使用に基づく話す・聞く・読む・書く力、生徒の能動的な参加)が重要であるとしたうえで、RISE が提供するカリキュラムは、次の点から21世紀の子供たちの英語能力の開発に寄与する革新的な教育プログラムである、と結論付けています。

- ① 米国で第二母国語としての英語教育に広く利用されている教材に基づき開発
- ② 科目ベースの知識・コミュニケーションを養う
- ③ 高次元の考え方(英語で別の事象を考える)を育成

総合的な語学力、思考力、リーダーシップを育てるフルタイム・プログラム

RISE Japan では、こうしたグローバルで展開されている教育プログラムをベースに、英語環境下でチームワークやコラボレーション、リーダーシップ、生きるために必要な知識や見識、また日本人らしさを学ぶことで、単なる英会話ではなく、子どもたちにとって一生の財産となる語学力、思考力、生きる力を養うことを目的とした、就学前児童対象のフルタイム・プログラムの実施に力を入れています。

2016年7月には、1歳半から3歳半までを対象としたデイリー・プログラム「プリスクール・プログラム」(月曜から金曜の9時から14時まで毎日開園)をRISE 代官山センター(渋谷区代官山町17-6 代官山アドレス・ディセ1階)にてスタートしました(プリスクールの詳細は<http://www.risejapan.com/pre-school>をご覧ください)。

また9月より、2017年4月に開園する4歳から6歳を対象としたバイリンガル幼稚園「フルタイム・キンダーガーデン・プログラム」(月曜から金曜の9時から14時まで毎日開園)の募集を正式に開始します。

今後ますます進む英語教育の早期化

2016年8月1日に、文部科学相の諮問機関、中央教育審議会特別部会が、2020年度から小中高校で順次実施する次期学習指導要領の中間報告(審議まとめ)を公表。報告には、小学5年生での英語の教科化、「読む・書く」ことへの取り組み強化、小学3年生からの「外国語活動」の前倒しなどが盛り込まれ、国を挙げての取り組みが進められています。こうした



ことから幼少期の英語学習には近年高い注目が集まっており、2015年度の語学ビジネスの市場における幼児・子供向けサービスは、幼児・子供向け外国語教室は対前年度費102%の1,010億円、プリスクール340億円(109.7%)、幼稚園・保育園向け英語講師派遣 35億円(102.9%)と市場全体をけん引する格好となっています。(※2)

※1 英語イマージョン・プログラムとは、言語として英語を習うのではなく、「英語環境」で他の教科を学び、子供たちがその言葉に浸りきった状態(イマージョン)で習得を目指す学習法

※2 株式会社 矢野経済研究所「語学ビジネス徹底調査レポート 2016」(2016年6月発表)

RISE Japan および RISE Japan 代官山について

RISE Japan は、企業の人材・組織開発コンサルティングを手掛けるセルムグループが世界で英語スクールを展開する RISE Global と共に設立した合弁会社です。2016年3月には、日本初進出となる、RISE Japan 代官山【英語で学ぶ、キンダーガーデン(幼稚向け)/アフタースクール(幼児から小学校向け)】を代官山アドレス・ディセに開校しています。RISE Japan では、RISE Global が保有する世界有数の英語教育コンテンツに、セルムグループが持つ 20 年に渡るリーダー育成や社会人教育で得られた知見・ノウハウ、エッセンスを掛け合わせた教育カリキュラムを提供。幼少期に英語環境でチームワークやコラボレーション、リーダーシップ、生きるために必要な知識・見識、そして日本人らしさを学ぶことで、子どもたちの一生の財産となる語学力、思考力、生きる力を養うことを目指しています。

RISE および RISE Global について

RISE エデュケーション・センターは、革新的な教育プログラムの先駆企業である RISE Global が所有・管理運営する英語スクールです。次世代のリーダーの育成と、幼い子供たちに国際社会で活躍するためのスキルを提供することを目的に、インドネシア、日本、サウジアラビア、韓国、ベトナム、中国において教育事業を展開しています。

RISE が提供する学習法は、確かな教育法、革新的なソリューション、および、これまでの成功事例に則ったリーダーシップトレーニングから成り立っています。